

ひなたぼっこ新聞

2011.4.1
第4号

《平成二十二年 たびだちの会》

三月二十六日に、たびだちの会がおこなわれ、7組の親子が参加してくれました。

NPO法人いのちの応援舎理事長の山本助産師

からお祝いの言葉と、

賞状の授与をいたしました。

さすが「たびだち」のお友だち、卒業証書をもろう姿がとても



立派で感動的でした。

また、お楽しみ会

は、ひろばの有志のお母さんが、ハンドベル、手遊び、体操などの出し物を披露してくれました。ぴ



ったり息があっついて、お祝いでいる気持ちがとても良く伝わって来ました。また、大きくなった姿をひろばに見せに来て下さいね。

《小児科のお医者さんのお話》

〜ハピネス子どもクリニック 齋藤慎一先生〜

二月五日に、齋藤慎一先生をお迎えして、「予防接種」の事などについてのお話をして



いただきました。

当日は、お父さんも参加してくれて、



先生のお話に熱心に耳を傾けていました。

また、お話の後の質問タイムでは、質問が全く途切れることないほど、色々な質問が出ました。

日頃、受診した時には、聞けない色々な事を、先生にお聞きすることができて、参加者の方々もとても満足していただけたようでした。齋藤先生、ありがとうございました。

《文さんとの座談会》

一月二十四日に、「文さんとの座談会」がありました。理事長で助産師の山本がひろばのお母さん方へ、いのちの応援舎の立ち上げた話や、子育ての中で大切にしてほしい事などのお話がありました。

日々のお母さん方の大変さやしんどさを受け止めながら、その努力を応援するメッセージが伝わえられました。みなさん、真剣にお話に入っていました。



《ほろABC》

「お母さん先生講座」 第4弾



ひなたぼっこでは、既に3つのお母さん先生講座がありました。加えて十月からひろば現役のお母さん菊池さんが子どもたちに、英語のレッスンをしてくれる講座ができました。

三月十四日の月曜日は3回目で、1歳半以上のお友だちが対象でした。



手遊びをしたり、身体を動かしたり、絵本やカードを見たり、お歌を歌ったりと、盛りだくさんで、子どもたちも楽しく英語にふれあう事ができました。

簡単な歌や手遊びなら、お家の生活の中でも子どもに、してあげることができそうですね。

《授乳コーナー》

ひなたぼっこでは、今まで、授乳スペースとして、お隣の助産師会のお部屋をお借りしていましたが、今回、授乳コーナーをひろば内に設けました。

ひろばは、小さいお友だちが多く、大勢のお母さんが授乳されているので、少しでも便利に使っていただけたいと思います。

また最近では、積極的に子育てに参加される、イクメンお父さんも増えていきます。授乳スペースを設けることで、お父さんが、ひろばにより参加しやすくなると嬉しいです。



お母さんの声



「紅茶の会でリフレッシュ」 片岡 恵理

ひなたぼっこでは、チビちゃんを願いで、ママがリフレッシュできるイベントがあります。



凧太郎が生まれて2年。忙しさをゆっくりお茶を、なんてすっかり忘れていた私ですが、この会に参加して美味しいお茶を頂いた後は、いつも「よし、頑張ろう」という気持ちになります。

「凧ちゃん、これからもよろしくね。ママ」

「あっとこの間の一年」 中川 奈緒美



ひろばを利用するようになり、ちょうど一年が経ちました。一年はあっとこの間に過ぎたけど、子どもにとってたくさんの事ができるようになった一年だと思えます。そんな成長と一緒に喜んでくれ、支えてくれたスタッフの方々や、お母さん方に出会えて嬉しく思っています。これからも癒されに遊びに来ます。